

行事の
聴く
お話

海の日のお話

「海の日」は、海に「ありがとう」の気持ちを伝える日です。広い海には、魚、イカ、エビ、タコ、カニ、貝などいろいろな生き物がいます。人間は昔から、海の生き物を食べて暮らしてきました。わかめやこんぶもそうですね。

そんな海に、近頃、困ったことが起きています。海や砂浜にごみを捨てる人が増えたのです。ペットボトルやお菓子の袋が波で流されて、魚やカメが間違って食べてしまったり、からまって動けなくなったりしています。

きれいな海を守るために、みんなができることは何でしょう？ ごみは家まで持って帰ること。

そもそも、ごみを出さないようにするにはどうしたらいいのか、みんなで考えてみてもいいですね。

(おしまい)

● 聴くお話は、耳で聴いただけで、様子を思い浮かべたり、内容を理解したりするお話です。小学生になっても必要とされる、「話を聴いて理解し、考えたり行動したりする力」を育てます。行事の導入や、ちょっとした空き時間にぜひご利用ください。

